

図書館から

新しい本が入りました
生まれる。

鈴木 おさむ／著

小説

命とは何か、幸せとは何か。つらくても、思うようにいかなくても生きていく。TVドラマのノベライズ版。



踏んだら最後！
県民性の地雷原

岩中 祥史／著

一般書

さまざま「地雷原」があるが、想像以上に大きな爆発力を秘める「県民性」。平和な対人関係を築くために、県民性の強みと弱みを紹介。



わたししんじてるの

宮西 達也／作

絵本

「お父さんとお母さんを助けて。トリケラトプスの子は、たつたひとりで恐ろしいティラノサウルスのところへ頼みに行った。信じる気持ちが起こした物語。」



訓子府町戦没者追悼式が7月15日、忠魂碑前で行われました。ご遺族や関係者100人が参列し、戦没者に対して黙とうを行ったあと、参列者一人ひとりが献花し、戦没者の英霊を追悼しました。



ご遺族など100人が
参列し戦没者追悼式

訓子府町戦没者追悼式が7月15日、忠魂碑前で行われました。ご遺族や関係者100人が参列し、戦没者に対して黙とうを行ったあと、参列者一人ひとりが献花し、戦没者の英霊を追悼しました。

野生大麻根絶へ抜き取り作業

町内に自生する大麻の抜き取り作業が7月7日に行われました。

ライオンズクラブをはじめ、仁木薬局、防犯協会、訓子府高校PTA、訓子府消防団、訓子府駐在所、北見保健所、町の合わせて40人が参加。猛暑にもかかわらず、参加者は、人の背丈より伸びている野生大麻を1本1本抜き取り、撲滅に向けて汗を流していました。

この日は、9か所所で約2万2,000本を抜き取り、処分しました。



北電 環境対策で居小に植樹



北海道電力北見支店の環境対策の一環で、同支店の職員が6月21日、居武士小学校で植樹事業を行い、学校周辺の環境美化にご協力いただきました。

同支店の環境月間に合わせた地域交流事業。穴を掘らない「カミネッコン（バイオブロック）」という再生ダンボール製の型枠を活用。

児童も参加して、まず型枠を6個一まとめとして校舎西側に置き、その型枠一つ一つにエゾヤマザクラやオニグルミなど5種類の苗木を植える「寄せ植え方式」で植えました。

スノーマーチのイメージソングが完成

知名度アップに子どもたちも協力

じゃがいもの新品种として町内で栽培、流通の活性化をめざしている「スノーマーチ」のイメージソングが完成しました。

きたみらい農協の馬鈴薯振興会などが知名度アップのために企画、7月10日に北訓地域集会所で農家の子どもたち（5歳～11歳）が参加して歌の収録を行いました。

同振興会の南 博敏会長が宮城県石巻市にある歌手の池 政昇さん（北見市在住）の後援会にスノーマーチを支援物資として提供したことがきっかけで、池さんが音楽関係者に作詞作曲を依頼し完成しました。歌詞にはスノーマーチの特徴や料理名なども盛り込まれ、歌いやすい内容となっています。



剣道「赤胴大会」で健闘



第60回北海道少年剣道錬成大会兼第53回「赤胴」少年剣道錬成大会が7月24日に旭川市で行われ、「尚武館」の小学校2年生から6年生までの4人が出場しました。「尚武館」が活動休止状態だった期間も含め、この大会に出場するのは、8年ぶりとなりました。
4人は、岡林 健くん（6年）小 山田竜晟くん（5年）小野紘大くん（4年）小山田崇晟くん（2年）で、団体戦に出場するとともに、岡林くんは個人戦にも出場しました。全道大会に向けて、4人は一生懸命に古い古を積み、全道大会でも練習の成果を発揮しました。

まちのわだい



にぎわったアートフェス

町制施行60周年記念「くんねっぷアートフェス みんなだれでもアーティスト」の第1弾、作品展が7月15日から24日まで公民館で開かれました。

遠軽町の障がい者支援施設「向陽園」で生活する方の絵画など約70点が展示されたほか、自由に工作などを楽しみ飾ることもでき、多くの方でにぎわいました。

同フェスは第2弾（講演会 10月22日）第3弾（ワークショップ 10月23日）も予定されています。

幼稚園・保育園
合同運動会
訓子府幼稚園、くんねっぷ保育園の合同運動会が、6月26日幼保グラウンドで開かれました。
園児たちは、元気いっぱい走ったり、踊ったりと一生懸命でした。父母も参加しての競技なども行われました。観客席には、父母やおじいちゃん、おばあちゃんも多数詰めかけ、かわいい子どもたちに声援を送っていました。



みんながんばったね！